



議会だより

No. 92

平成26年2月発行

# おおたま



親子対決!! (1月13日村民剣道大会)

12月定例会開催 ..... 2～4面

一般質問    **ここが聞きたい 6人が登壇** ..... 5～10面

議員発議    **政府が米の需給と価格に責任を持つ米政策の確立を求める意見書 他2件** ... 11～12面

委員会視察研修報告 ..... 13～14面

第6回女性議会開催 ..... 15面

# 12月定例会開催

12月定例会は、10日から13日までの4日間の会期で開かれ、条例制定4件、条例改正8件、補正予算6件、人事案件2件、議員発議3件の合計23件について審議しました。

また、一般質問では、6人の議員が登壇し、各種行政課題等に対し村の考えを質問しました。

## 災害公営住宅（横堀平地区）

### 平成26年度に65戸設置

#### 応急仮設住宅地内東側に建設

大玉村に設置される災害公営住宅は、『福島県復興公営住宅整備計画』に基づいて設置されるもので、国・県・富岡・大玉の4者で個別協議を進めてきました。

村が事業主体となり、県が代行して建設します。主に木造一戸建て3LDKが基本となる予定で、建設費は、国のコミュニティ復活交付金で8分の7がまかなわれます。

富岡町が行った住民意向調査結果を基に、65戸を設置して、原則富岡町民のみを居住対象とします。富岡町と協定を結び運営していく考えです。

今回の条例制定・改定は災害公営住宅の設置・運営に必要な内容を定めたものです。

#### 災害公営住宅とは…

公営住宅法に基づき県や市町村が整備し、自宅を失った被災者または原子力災害により避難指示を受けている方が、低廉な家賃で入居できる公営住宅です。

## 予 算

#### ◆一般会計

補正額 1億2127万円  
総額 97億8275万円

一般会計補正予算は、子ども元氣臨時交付金事業や災害公営住宅整備事業、農業関係除染対策事業などの原発事故対策関連事業や、事業の所要見込みによるもの、給与などの減額に伴うものなど、主なものは次のとおりです。

#### 歳 出

- 交差点注意喚起看板設置工事費 30万円
- 「復興のつどい」に要する経費や災害時特設公衆専用電話機購入費 120万円
- 農産物等非破壊式放射能測定器購入費 315万円
- 草地除染の困難なほ場の保全管理作業のための補助金 420万円
- 米の全袋検査費 840万円



ゆるキャラ「たまちゃん」の更新費用が計上されました。  
(町イチ！村イチ！2014（1/11～1/12）でのたまちゃん)





大玉村安達太良応急仮設住宅

## 大玉村村営住宅 条例の一部改正

災害公営住宅を整備すべく、公営住宅法による村営住宅条例の制定を新たに行うことが必要となったため、現在「特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律に基づく特定公共賃貸住宅」として運営されている「大玉村村営住宅条例」の一部を改正する。

## 大玉村村営住宅 条例の制定

災害公営住宅の建設について、公営住宅法上の村営住宅として整備されるため、公営住宅法による村営住宅条例を制定する。

## 大玉村村営住宅 管理条例の制定

「大玉村村営住宅条例」の制定に関連し、村営住宅の管理に関して定める条例を制定する。

## 大玉村村営住宅及び 共同施設の整備基準 に関する条例の制定

「大玉村村営住宅条例」の制定に伴い、村営住宅及び共同施設の整備基準に関して条例を制定する。

## その他条例関係

- 大玉村子ども・子育て会議条例の制定
- 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 大玉村税条例の一部改正
- 大玉村国民健康保険条例の一部改正
- 税外収入の督促及び延滞金徴収条例の一部改正
- 大玉村介護保険条例の一部改正
- 大玉村後期高齢者医療に関する条例の一部改正
- 大玉村消防団設置等に関する条例の一部改正

# 正

# 補

- 保育所・幼稚園・小学校などの遊具更新費 493.3万円

- 納税者の利便性を図るためのコンビニ収納システム導入費 175万円

- 子ども・子育て支援制度の施行に向けての経費 170万円

- ゆるキャラ「たまちゃん」更新費用 50万円

- 災害公営住宅の整備費 2200万円

- 小中学校雪上体育体験で小学5・6年生も対象として実施する経費 111万円

### ◆特別会計

- 国民健康保険

補正額 21万円

総額 9億3958万円

- 介護保険（保険事業勘定）

補正額 72万円

総額 6億8617万円

## 請願・陳情一覧表

### ●12月定例会に提出された請願

| 件名                                     | 提出者                                          | 付託委員会 | 審査結果 |
|----------------------------------------|----------------------------------------------|-------|------|
| 「2014年度教育予算の充実に教職員定数の改善を求める意見書提出」方の請願書 | 福島市上浜町10-38<br>福島県教職員組合<br>中央執行委員長 五十嵐史郎 他1人 | 総務文教  | 採択   |

### ●12月定例会に提出された陳情

| 件名                            | 提出者                                | 付託委員会 | 審査結果 |
|-------------------------------|------------------------------------|-------|------|
| 政府が米の需給と価格に責任を持つ米政策の確立を求める陳情書 | 二本松市油井字田向73番地<br>安達地方農民連 会長 佐藤 佐市  | 産業厚生  | 採択   |
| 道路整備に関する陳情書<br>(村道定場・長井坂線)    | 大玉村玉井字定場88番地<br>大玉6区 区長 官野 紀男 他11人 | 産業厚生  | 採択   |

## 人事案件

### 大玉村固定資産評価審査委員会委員の選任

12月23日に任期満了となった小沼弘氏の後任として、武田伸一氏（玉井字北東町）の選任について同意しました。

任期は、平成28年12月23日までの3年間です。

### 人権擁護委員候補者の推薦

3月31日に任期満了となる伊東正隆氏（大山字岩高）を再任するとし、法務大臣へ推薦することについて同意しました。

任期は、平成29年3月31日までの3年間です。

# 一般質問

ここが聞きたい

6人が登壇



押山義則議員

**押山**…この夏の豪雨災害をうけて、防災対策の充実、見直しの必要が緊急の課題と考えます。今回の災害への対応、災害復旧の状況、見直しを含め、見直しの必要性を伺います。

## この夏の豪雨被害を受け 防災対策見直しの必要性を！

**住民生活課長**…災害対策本部として、職員招集、消防団招集、避難所開設、避難勧告と、関係者協力の下、適宜に対応できました。その後も、被災者への廃棄物処理支援、土砂撤去に対する補助制度の創設、罹災見舞金の拡充など、支援してきましたところですが、今後関係機関との連携を密にして、状況、情勢分析をしつかり行つて、早めの対応を心がけていきます。また防災計画の見直しについては、土砂災害防止法による、土砂災害特別警戒区域の指定を見

据えて、今回の教訓を生かし、危険の周知、避難体制の充実など、早急に図る必要があると考えます。

**押山**…危険地域、避難場所の確保など、対策全般についてのハザードマップの作成ができてないが、進捗状況は。

**住民生活課長**…現在、村内8流域について、土石流の基礎調査中であり、結果を踏まえて住民への説明、村長の意見を基に、土砂災害警戒区域特別警戒区域の指定を目指しており、区域指定が行われれば、土砂崩れの



復旧が待たれる牛子沢川

**村長**…急な話で、答弁は難しいですが、東西南北となれば、南部にはないので、住民要望が出ればその時点で検討させていただきます。

**押山**…今回の災害の経験を踏まえて、現在大玉村1区2区、3区の南部地域には確固たる避難所がありません。地域住民から、それぞれのふれあいセンターのような避難施設の要望が聞かれます。対策が揃つての防災であります。考えがあるか伺います。

**押山**…ふるさと納税制度に、産品の米を謝礼品にして、億単位の寄付金を集めている自治体があります。日本一のおいしい米と銘打った大玉の米、

## ふるさと納税制度の活用を

制度を拡充利用して、ふるさと納税制度寄付金の増額を狙ってくれませんか。

**村長**…寄付金を増やす方策はないかと探っております。謝礼品の還元率を高め、1千万円を目標にふるさと納税制度をPRしてまいります。

制度を拡充利用して、ふるさと納税制度寄付金の増額を狙ってくれませんか。

**村長**…寄付金を増やす方策はないかと探っております。謝礼品の還元率を高め、1千万円を目標にふるさと納税制度をPRしてまいります。

### ふるさと納税って？

自分を育ててくれたふるさとに、『貢献したい』『大切にしたい』『大玉村を応援したい』という思いを寄付というかたちで表していただくものです。寄付先のふるさとに定義はなく、各自が思うふるさと（都道府県・市区町村）を自由に選び、その使い道も指定できる制度です。個人が2千円を超える寄付を行ったときに、住民税・所得税から一定の控除を受けることができます。

大玉村に「ふるさと納税」をすると、村が潤います。親戚の方などにもこの制度のアピールを!!

### 他に次の質問がありました。

- ・地域の健康福祉政策「しくみづくり」を伺う
- ・農業施策（稲作）を伺う





佐藤誠一議員

## コメ政策について

**佐藤**…政府は、コメ政策を大きく転換し、生産調整（減反）を、5年後に廃止すると決定したが、当局の受け止めと今後の対策を伺う。

補助金の見直しについて、徐々に廃止の方向とのこと、村の対応を伺う。

飼育用米などへの転作を促すための補助金を拡充する方針ですが、どんなことか説明を求めます。

**農政課長**…国が決定した施策、基本的には受け入れざるを得ない。県、JA、関係機関と協議の



散布が待たれる堆肥

上、今後の対応を進めていきます。

米の直接支払交付金が、26年度、半額になります。コメ政策の大きな転換の中で、主食用以外への取り組み、飼料用米など、農業の多面的機能の発揮のための地域活動に對しての支援強化が、国の方向性であり、村としても、米政策の転換を図り、農地集積や、農業生産法人の拡充を検討し、体制整備を図ってまいります。

## 農業用ため池（底土の放射性物質）について

**佐藤**…県内の農業用ため池の3割が放射性物質が基準値（1リットル当たり8千ベクレル）を超えたと発表されました。村内の農業用ため池の実態として村にはいくつのため池があるか、その中で基準値を超えた、ため池はいくつか。その結果での今後の対策と、国からの伝達事項の内容をお尋ねします。

**建設課長**…村内、土地改良区管理、13カ所、村管理3カ所、計16カ所のため池があります。東北農政局1カ所、県12カ所、計13カ所が調査を終えており、底質分において、指定廃棄物1キロ当たり、8千ベクレル超の放射性セシウムが検出されたため池、6カ所でした。調査については、底質と水質の2つを検査対象としており、取水する水質分については検出限界値未満で

あります。ただし、岩高地区のあぶみヶ池について、水中より2・3ベクレルの放射性物質が検出されましたが、ろ過後の検査結果、検出限界値未満と報告されております。

今後の対策としては、ため池の構造上、底質分が流失しにくい構造であり、特別の対応は考えておりません。

他に次の質問がありました。

- ・子ども元氣復活交付金について



あぶみヶ池風景

## 住民の健康を守る施策を どう進めるのか

**武田**…住民の健康を守るための施策をどうつくるのかは自治体の大きな課題である。大玉村の検診受診率はそれぞれ何%か。

**健康福祉課長**…平成24年度特定検診受診率は、43・4%。ガン検診が27%です。

**武田**…健康診断未受診者への働きかけはどのように行っているのか。

**健康福祉課長**…広報などで啓発を行い、ガン検診3年間未受診者については、個別に通知をだして、受診を勧めている。

**武田**…健康づくりのため村民プールなど社会体育施設の活用が重要では

ないかと思うが、その考えはないか。

**健康福祉課長**…プールの活用は健康づくりにおいて有効であると考えている。

来年度に向けて、教育委員会や住民生活課、健康福祉課など各担当と事業計画を作成していく。

**武田**…高齢化、核家族化、限界集落の出現などの現実を踏まえ、安心した日

常生活を送るために、高齢者の生きがいやどう作り出すのが重要になると思うが、どう進めていくのか。

**健康福祉課長**…生きがいを持つて生活すること健康寿命を伸ばす事につながる。団塊の世代の皆さんが65歳を迎える中で、その経験や、知識を是非役立てて欲しい。



武田悦子議員



健康づくりに効果が期待される村民プール

## 住民の足を確保するための 施策は

**武田**…現在運行している生活バスの利用者はどの位になつてゐるか。また、路線の変更拡大の考えはないか。

**企画財政課長**…平成24年度の実績は1万1052人で、年々1000人程度の減少傾向です。路線の変更拡大にはバスがもう1台必要になることや、本宮市、二本松市との連携協議が必要になること

などから拡大変更はどうなのかと考える。

**武田**…社会福祉協議会で運行している福祉バス、外出支援サービスの利用者はどの位か。

**企画財政課長**…福祉バスは平成23年度が1日平均21人、24年度が平均20人、25年度が9月末で平均20人の利用です。外出支援は、23年度が158回、24年度が238回、25年度11月末で71回です。



通院の足として活躍する福祉バス

**武田**…買い物やお見舞い、友達に会うなど、様々な場面で利用できる新たな公共サービスが必要になつてくると思うが、どのように進めていくのか。

**企画財政課長**…新たな公共交通をどう作り出していくのかについて、福島自治研修センターとの共同調査を行い、住民ニーズの掘り起こしや費用対効果も含め、大玉村にマッチした総合的な交通体系を作りたい。





須藤軍蔵議員

## 中森の碎石場跡地について

**須藤**…跡地の整地もだいぶ進んだ残りの場所への埋め戻す土について、原発事故とも相まって心配の声が出ている。住民の安全を確保するために、どのような対応をされるか伺う。

**住民生活課長**…平成23年の震災発生以降、新たな土砂の搬入はない。露天掘りされた地形については、ほぼ埋まっている状態で、転落などの危険性はない。今後の埋め戻しにはあと数万立方の土砂が必要であり、土砂搬入前には放射性物質の測定を行うとともに、地域住民へ情報を公開していく。

**須藤**…碎石していたとき使用されていたトランスなどが半ば放置された状態で残されている。その数はどれほどか。

**住民生活課長**…碎石現場で使用していた変圧器が5基、コンデンサーが4基残されている。

**須藤**…これらには、人体に有害な物質が含まれていると聞かすが、どういう内容物か、その数を含め詳しくお知らせください。

**住民生活課長**…残されている変圧器、コンデンサーのうち7基には、製造年月日から高濃度のPCB（ポリ塩化ビフェニル）が使用されていると思われる。PCBはダイ



早急な撤去が求められる変圧器など

オキシンの問題など、毒性が強いといわれている。

**須藤**…地域住民、村民の健康を守るために、一刻も早い撤去が求められる。現段階ではどうなっているか伺う。

**住民生活課長**…PCBの回収、処分は事業者に求めているが、当面の安全対策も含めた処理計画書の提出を求めている。

**須藤**…開発行為は、県の許可可権ですので、業者の都合で進まないでは困る。県の代執行などを要請できないのか。

**住民生活課長**…いきなり代執行とはならないと考えるが、地元の要望などを踏まえ、県に事業者への指導を求めている。

**須藤**…跡地で残された部分の早期埋戻し完了、残されている危険物の早期撤去、近隣地域が昔から農業用水として使用してきた水の確保について一体的なこととして、取り組んでいただきたい。村長の決意のほどを伺う。

**村長**…採石場跡地に残されたものについては県と一緒に強く指導していく。また、農業用水は、土地所有者と一緒に現地を確認し、対応していく。

### PCBについて

ポリ塩化ビフェニル化合物の総称で、なかでも、コプラナーPCBと呼ばれるものは毒性が極めて強くダイオキシン類とされています。

主に油状の物質で、科学的にも安定した性質のため、電気機器の絶縁油、熱交換器の熱媒体、ノンカーボン紙などに利用されました。

脂肪に溶けやすいという性質から、慢性的な接触により体内に徐々に蓄積し、様々な症状を引き起こすことが報告されています。

その毒性が社会問題化し、昭和47年に製造中止になりましたが、安全に処理できる施設が少なく、機器を使用した事業者により30年以上保管されています。

紛失や不明になった機器内のPCBの流出による環境汚染が懸念されています。



## 豪雨被害の復旧は進んでいるか



鈴木康広議員

**鈴木**…この夏の豪雨は、村内に多くの被害をもたらしました。その被害からの復旧はどれほど進んでいるか。

**建設課長**…復旧予算が約2億5500万円です。1月末までには全ての復旧工事の発注を行う予定です。

**鈴木**…被害を受けた方々は、春の作付け前に工事が完了するかどうか心配しているが、完了予定はいつ頃か。

**建設課長**…農地の災害復旧工事の村発注分については、おおむね作付け前に完了の予定です。また農業施設や公共土木施設の復旧工事についても、



弓張川(ユミハリガワ)の土砂払い

作付けに影響の無い所は繰り越すことも考えておりますが、それ以外は作付けに間に合うように優先的に進めていきたいと考えております。

**鈴木**…今回の豪雨は、災害対応のために働かれた消防団や職員の皆さまが身の危険を感じるような、これまでに無い災害でした。新たな対応策の検討はされているか。

**住民生活課長**…今回のような突然のゲリラ豪雨や寝込みを襲われるような

大規模の地震などについては、住民の生命の安全確保のための避難を最優先に考える必要がある。とつさには消防団などとも手の打ちようなない場合も考えられる。それに備え図上演習ではありますが、どのような被害が想定されるか、どのような手立てが講じられるかを、平時より職員自身の問題と受け止め、十分な想像力を持って考えることが必要と認識しています。

## 魅力ある教育環境と、進学のための学力をどう捉えるか

**鈴木**…村内の高校進学率と大学進学率はどれくらいか。

**教育総務課長**…学校基本調査より高校進学率は23年3月卒業が100%。24年は98・8%。25年は100%です。また大学進学率は、把握しておりません。

**鈴木**…大学進学率を把握していないとのことだが、この情報が重要ではないとの考えから把握していないのか。

**教育総務課長**…情報の重要性は認識しているが、大学については通学区域が多岐にわたることもあるため、現在は把握されていない。

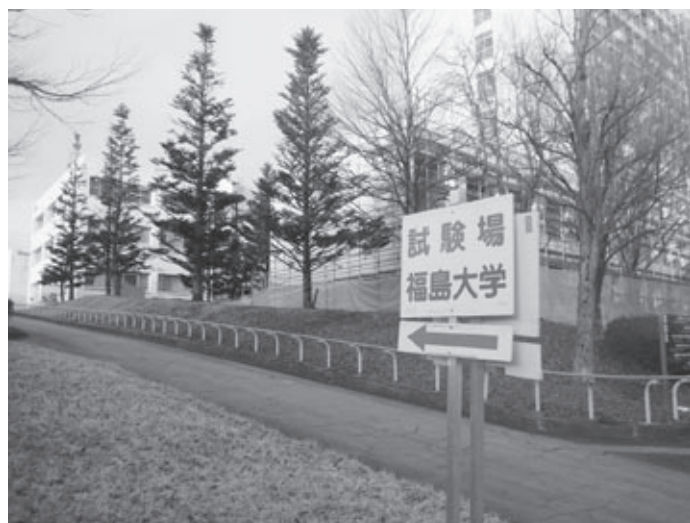
**鈴木**…高校受験時の通塾率はどれくらいか。

**教育総務課長**…平成25年度の全国学力調査によると58%の生徒が学習塾に通っていないと回答している。

**鈴木**…親は子どもの将来の職業などの選択の幅を

広げるために高い学力を付けたいと願う。大玉村の現状は、進学の面からはどう認識しているか。

**教育長**…進学ということに限らず、学ぶ力を育んでいくためには学校教育の充実が必要と考える。現状を鑑み学習のサポート体制づくりの一環として福島大学と連携した学習支援の実施に向けた具体的協議を始めたところ



センター試験会場

他に次の質問がありました。

・行政サービスの充実について

**遠藤**…過去の一般住宅への太陽光発電設置状況について、広報に記載されており、広報に記された共施設に設置、または公注済、25年度一般住宅へ設置・予定も含めた本村の太陽光総発電量の推計を伺う。

## 再生可能エネルギー利用推進の村宣言後の村内状況について



遠藤文一議員

**住民生活課長**…太陽光発電25年度実績見込み  
発電設置件数 31件  
発電能力 約150キロワット時  
**遠藤**…薪やペレットストーブに対して現在までの補助金交付状況と、件数を伺う。  
**住民生活課長**…薪ストーブ 7件  
ペレットストーブ 実績なし  
**遠藤**…県広報誌で、百口川に最大70キロワット120世帯分の消費電力に匹敵する、小水力発電を導入と



薪ストーブ

ること、26年度中に完成運用出来るのか、また杉田川の可能性調査結果と、いつ事業着手、運用できるのか伺う。  
**住民生活課長**…杉田川、現在可能性調査実施中であります。今後については、再生可能利用促進協議会で検討してまいります。  
**村長**…杉田川について、小水力発電推進の考えで可能性を探っておりますが、現在、補助制度もな

く、また水利権、一級河川の問題、砂防ダムの強度の問題を含めて、すぐには取り組まない考えです。  
**遠藤**…再生可能エネルギー利用推進協議会でも、原発で賄っていた分ぐらいは、再生可能エネルギーで調達できるように方向性でやっていく必要がありますが、まだまだ不十分、補助率を上げてでも一般住宅への、太陽光発電の設置をお願いすべきと存じますが、伺う。  
**村長**…原発の相当する分、当然目標とすべきであり、太陽光発電が、今一番可能性が高いと考えております。今後、消費税8%また買取価格が下がる見込みであり、普及のためには、補助率の引き上げも検討してまいります。  
**遠藤**…山は荒れ放題、山林資源非常にもったいない、薪や木質ペレットストーブにも、もっと配慮すべきと思います、将来的に公設民営の木質ペレットの生産プラント建設を提案します。

**村長**…村の7割が山林という特質から考えると、森林の利用は不可欠であります。さまざまな条件から今現在取り組める状況にありません。薪ストーブ、ペレットストーブの推進を含めて、設置のための補助率など検討してまいります。



増設される太陽光発電（玉井字築館地内）

他に次の質問がありました。

- ・地域経済活性化・雇用創出臨時交付金について
- ・建築物の耐震改修の促進に関する法律の一部を改正する法律について
- ・村内河川の管理計画について
- ・教職員などによる不適切な行為に関する調査について
- ・全国学力調査について



## 政府が米の需給と価格に責任を持つ 米政策の確立を求める意見書

先般、農林水産省は経

営安定対策や生産調整を含む米政策等、農政の根幹を転換する「現行施策の現状と課題、論点整理を踏まえた中間とりまとめ」（案）を公表し、近く最終取りまとめを行うとしています。

「中間とりまとめ」は、米の生産コストを4割引き下げを前提に、経営安定対策や水田活用交付金などの補助金をゼロベースで見直すことを求めた「産業競争力会議」の議論を踏まえたものです。

内容的には、「10<sup>㍻</sup>あたり1万5000円の米の直接支払交付金を平成26年産から大幅に減らし、平成30年から打ち切る。米価変動交付金は26年度で打ち切る。政府が生産数量目標を示すのをやめ、生産調整そのものを5年をめどに廃止する」などとしています。こうした農政の転換に

よって引き起こされるの

は、生産費を下回っている米価のさらなる暴落です。また米の直接支払交付金の半減および廃止は、農家経営に重大な打撃となることは避けられません。特に制度への依存度が高い大規模農家や集落営農組織などの担い手ほど影響が大きいことは明らかであり、地域農業と農村社会に取り返し

のつかない事態を招きかねないものです。関税の撤廃をはじめ、日本農業と国民生活に重大な影響をもたらすTPP交渉が山場を迎えている中、今回の農政の転換は、TPPへの参加に向けたものであるという懸念も広がっています。国際的に食料不足が深刻化しているもとで、食料の増産は緊急の課題です。また、温暖化による大規模災害の多発は、農業のもつ多面的機能に光をあてた農業振興策の確

立を求められています。

ところが、「中間とりまとめ」で打ち出している方向は、生産の拡大と食料の安定供給に対する政府の責任を放棄するものであって、到底容認できるものではありません。以上の主旨から、次の事項について強く求めるものです。

1. 食料自給率を向上させることを最優先に、政府が米をはじめ主要作物の需給と価格に責任をもつ政策を確立すること。
2. 現行の経営安定政策の縮小・廃止方針を中止し、さらに拡充すること。

### 提出先

内閣総理大臣  
財務大臣  
農林水産大臣

## 東京電力福島第一原子力発電所における 汚染水問題ならびに中間貯蔵施設設置の 早期解決を求める意見書

東京電力福島第一原子力発電所の汚染水問題は、有効な対策が講じられないまま、新たな漏えい個所が確認されるなど、状況は悪化の一途をたどっており、もはや東京電力だけで対応できる問題ではない。

は日々増え続けており、除染作業の一層の進捗のためには一刻も早い中間貯蔵施設の建設と供用開始が必要である。原子力発電所事故への対応は、世界が注視している中、国が威信をかけて取り組むべき問題であり、一地方の問題に矮小化されてはならない。国においては、I O C総会における「政府が責任を完全に果たす」という国際公約をしっかりと守るとともに、国家の非常事態であるとの認識の下、問題の解決に向け、総力を挙げ、スピード感を持って取り組まなければならない。

に立ち、責任をもって早急に万全な対策を実施すること。

2. 除染による放射性物質を含む土壌など、放射性廃棄物の中間貯蔵施設建設を、国の責任において早期に進めること。

### 提出先

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
経済産業大臣  
復興大臣  
環境大臣

本県では、汚染水漏えいにより、アジアナ航空チャーター便の福島空港への運航が中止され、また韓国政府が本県等の水産物を輸入禁止にするなど、県民生活や県内産業だけではなく、国際的にも大きな影響を及ぼしており、国は汚染水問題の解決に向けた具体的な見通しを示し、一刻も早く対応を実行する必要がある。

また現在も放射性物質の除染作業で出る土壌などの放射性廃棄物

1. 汚染水問題については、国が新たな体制を構築し、財政措置を講じるなど前面

## 2014年度教育予算の充実と 教職員定数の改善を求める意見書

子どもたちに豊かな教育を保障することは、社会の基盤づくりにとって極めて重要なことです。次代を担う子どもたちの健やかな成長は、すべての大人たちの願いであり、子どもたちが全国各地に生まれ育ったとしても、等しく良質な学校教育を受けられるようにすることは、我々大人、そして国の責務です。

福島県では、県単独で30人学級・30人程度学級など少人数学級・少人数指導を実施し教育効果を上げています。しかし、福島県の教育は、東日本大震災及び原発災害以降、以前とは違った様々な教育課題を抱えています。被災した子どもたちは、大変厳しい環境の中

で生活し学んでいます。避難生活を余儀なくされている子どもたちの中には、様々な悩みを持ち、ストレスを抱える子どもも多く、教職員は様々なケアと支援を行い、教育活動を進めています。学校では、教職員が子どもたちに寄り添いながら子どもたちの悩みや訴えを真剣に聴き、一人一人の子どもの課題を共有しながら生活指導を進めています。しかし、学校現場は極めて多忙な状況にあり、教職員の負担は大きく、きめ細かな相談や指導体制も十分にとれない現状にあります。現場の教職員は、子どもたちに対する様々なケアの充実と日々の教育活動の充実のために、教職員の増員

による多忙化・過重労働の軽減と子どもと向き合う時間の確保を強く望んでいます。

様々な教育諸課題に対し、よりきめ細かい教育環境を実現していくためには、国による少人数学級・少人数指導の充実を進める新たな教職員定数改善計画の策定が必要です。少人数学級を小学校全学年及び中学校へ拡充し、さらに、いじめ問題への対応など学校運営の改善充実や、特別支援教育の充実など、個別の教育課題に対応した教職員定数の充実を図るために、教育予算を十分に確保することが必要です。

このような理由から、次の事項について強く求めるものです。

### 提出先

内閣総理大臣  
文部科学大臣  
総務大臣  
財務大臣

1. 子どものケアやいじめ問題への対応、特別支援教育の充実など、個別の教育課題に対応し、子どもたちに、安心・安全な学校生活を保障するために、地方交付税を含む国の教育予算を充実すること。
2. きめの細かい教育の実現のために、少人数学級の更なる推進等のための教職員定数の拡充を盛り込んだ、新たな教職員定数改善計画を策定するとともに、2014年度教育予算においては、この計画を反映した人的措置・財政措置を行うこと。

## 第7回臨時議会開催

11月19日

### 臨時議会で決まったこと

太陽光発電設備などを保健センターと包括支援センターへ設置する契約を可決しました。

契約金額5880万円で、株式会社大山電気工事が工事を行います。工期は26年2月28日です。

#### ○太陽光パネル

ソーラーフロンティア社製

パネル 63枚

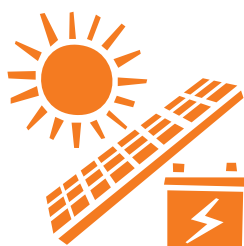
発電容量 10・395キロワット

#### ○蓄電池

ソニー製

オリビン型リン酸鉄リチウム電池

蓄電池容量 8・4キロワット時



# 委員会

# 視察研修報告



## 総務文教常任委員会

平成25年10月24日、25日の両日、委員全員参加のもと、秋田県由利本荘市教育委員会を研修先に「教育環境状況の調査研修」をテーマに調査研修した結果を報告いたします。

先ごろ発表されました、全国学力調査の結果から、福島県が大変厳しい状況にあり、本村においても全国平均をやや下回っている状況から、今後の復旧、復興の担い手となる、児童、生徒の学力向上は極めて重要と考え、全国学力調査結果、日本一の秋田県、特にレベルの高い由利本荘市の教育環境づくりへの取り組みを調査、研修いたしました。

確かな学力を身につけさせる教育の推進を目標に校長、教頭、教諭と教育委員会職員による9名で構成された学力対策委員会を中心に、市教職員のための年3回の研修会の実施、各学校への教育専門監（算数、数学、理科）の配置、全ての学校への図書館支援員の配置、特筆すべきは、学力調査結果の採点基準に基づいた自己採点により、各学校の課題を明らかにし、授業改善に活用するなど、児童、生徒のひとりひとりの教育的ニーズを把握し、個に応じた指導の充実を図ることに努めております。

また目標にある科学的な探究心への喚起のため、科学フェスティバルを開催するなど、由利本荘市体験型理数教育推進事業として、体験型科学教育（リアルサイエンス）に取り組み、知識を活用する能力問題を発見し、解決する能

力を養い、学習意欲の向上とともに、指導者の教育技術の向上に資することを実践しております。さらに、今後の取り組みとして、コミュニティスクールの推進を図り、学校、家庭、地域連携による、ふるさと教育、キャリア教育の充実を求めて、活動していくのとこのことであります。秋田県の方針はもとより、由利本荘市としての取り組みは大変充実しており、このたびの調査、研修が大玉村の教育環境づくりへの提言に大いに参考になったことを申し上げます。

また、11月21日、大玉



## 産業厚生常任委員会

村農村環境改善センター会議室において、大玉村定例教育委員会を傍聴後、村教育委員、関係職員参加のもと、研修結果を踏まえた懇談会を開催いたしました。それぞれの課題において議論を深め、大玉村児童生徒の学力向上、コミュニティスクール制度の今後の取り組みなど、教育環境充実のため、意義ある懇談であったことを付け加え、総務文教常任委員会の調査報告いたします。

「健康管理事業」と「再生エネルギー」と「再生活」を研修テーマとし、11月20日、21日で、長野県北安曇郡松川村の視察研修を行いました。

松川村は、水田農業を中心とした兼業農家が主で、温泉施設「すずむし荘」や「安曇野ちひろ美術館」などの観光施設も充実して、自然環境や田園風景なども数多く残る、緑豊かな村であります。

平成25年7月に厚生労働省から発表された、平成22年の全国市町村別平均寿命で男性の平均寿命が日本一の「82・2歳」となった村です。



健康管理事業については、平成17年度には、第5期老人福祉計画に基づき、「健康長寿いちばんの村」として、恵まれた環境の中で、「健康長寿の村」「安心が実感できる村」「支えあいとふれあいの村」をテーマに上げ、地域の支え合いなど進めています。また健康体操教室や水中運動教室、介護予防教室などに取り組んで、村民をいかに、参加させるか工夫をしていることに感じしました。

「再生エネルギー」につ

## 議会運営委員会



本年度の当委員会（1人）の調査は、「議会の運営に関する調査」を研修テーマとし、調査研修地を埼玉県三芳町と決定し、全委員出席のもと実施いたしました。

議会の概要は、議員定数を行政改革により、平成23年の改選時に16人から15人に削減し、現在に至っています。議会構成は、総務8人、厚生文教8人（1人欠員）の2常任委員会制で、議会運営、議会だより編集の各委員会は、それぞれ6人で構成、さらに議会改革推進特別委員会は8人で構成されています。

決算認定については、平成23年9月定例会より、決算特別委員会を議長、監査委員を除いた13人の構成で設置をし、委員長は他の委員長でない議員を選任することです。審査資料として決算書、成果説明書の他に、歳入予算説明書、事業別予算説明書により審査を実施しますが、特筆すべきことは、その他に、議会から当局へ資料を請求する点です。各議員からの要望を基に、議会運営委員会に取りまとめ、おおむね1カ月前まで提出するように請求します。

また原則として全ての審査終了後には、執行部退席の下、議員間の自由討議を行い採決するなど、十分な時間を取って、内容審査を行っていることであります。また予算審査も同様に予算審査特別委員会を設置して、審査することとされました。

議会の審議活動等議会運営の状況については、請願、陳情の数はきわめて多く、休会中でも毎水曜日に議案調査を実施することの事でありました。また議会改革推進特別委員会を設置して通年議会の導入等議会改革の検討課題をそれぞれ審議しておりますが、到達目標年度を定めて結論を導く努力をしている点に感心させられました。

議会活性化の取り組みについては、夜間議会、土曜、日曜議会の開催さらに議会報告会を毎年4月の夜間2日間、議員が2班体制で町内4会場において開催し、その周知は議員自ら駅頭にてチラシを配布するなど、活発な議会活動を展開しております。報告会では3月定例会での「条例、予算、常任委員会活動など」ふれあい座談会資料を作成して、それを基に町民に説明して、町民からは、議会や町に対しての意見・要望等を聴取し、その取りまとめを行うなど議会の活性化に努めています。

大玉村とは地理的、社会的な条件など、環境が異なる点が多々ありますが、今後の議会運営に大いに参考となる実りある研修であったことを付け加え報告と致します。

## 議会広報編集特別委員会

議会広報編集特別委員会は、11月13・14日、山形県東田川郡庄内町にて「議会広報編集全般について」を研修テーマとし25年度の視察研修を行いました。

庄内町議会だよりは、余目町と立川町が合併し庄内町となった平成17年7月に創刊され、現在36号までが発行されています。また、平成24年度の議会広報全国コンクールで最優秀賞を受賞した広報誌です。



議会広報常任委員は6名で構成されており、編集作業は委員と事務局との共同で進められています。「広報モニター」

の意見や指摘を編集に反映させることや、議会の審議内容について、町当局との考え方と議会の受け取り方に誤解がないかの確認を行うなど編集に工夫を重ねています。

「難しいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことをゆかいに、ゆかいなことを真面目に書くこと」という小説家、井上ひさしの言葉を編集方針として、議案を读者目線でわかりやすくすること、小学5年生でも理解できる内容にするこ



## 第6回 大玉村女性議会開催



質問をする安斎智恵美議員



議長を務めた武田夏代議員



女性議会は、村政についての理解と関心を深め、女性の社会参画を推進するとともに、生活者の視点を村づくりに反映することを目的とし、村内各種女性団体などの代表者（推薦を受けた者）により、11月4日振替休日の午前9時より開催されました。

第6回目の女性議会は、交通安全母の会玉井分会の武田夏代さんが議長として、会議を進めました。

| 議席<br>番号 | 氏 名               | 団 体 名                 | 質 問 の 内 容                           |
|----------|-------------------|-----------------------|-------------------------------------|
| 1        | おしやま ひろみ<br>押山 広美 | 商工会女性部                | ふれあい村民の森について                        |
| 2        | すどう さちこ<br>須藤 幸子  | 大玉中 PTA               | 放課後児童クラブの拡充について 他2件                 |
| 3        | えんどう ゆみこ<br>遠藤由美子 | 大玉村生活研究グループ<br>連絡協議会  | 産業振興センター西側の土地利用について 他3件             |
| 4        | すげの さち恵<br>菅野 幸恵  | 玉井幼 PTA               | 玉井幼稚園年少組教室の改修(テラス)について 他3件          |
| 5        | あんざい ちえみ<br>安斎智恵美 | JAみちのく安達女性部<br>大玉総合支部 | 道の駅機能について 他1件                       |
| 6        | ふるかわ さおり<br>古川 沙織 | 大山小 PTA               | 通学路の除染とその後の現状について                   |
| 7        | えんどう やえこ<br>遠藤八重子 | 大玉村<br>女性消防協力隊        | 村内の道路整備について 他1件                     |
| 8        | くろさわ えりか<br>黒沢恵里佳 | 2013おおたま<br>成人祭実行委員会  | 医療機関の誘致について 他1件                     |
| 9        | いとう さだこ<br>伊藤 貞子  | 大玉村磐青の会               | 男女共同参画に関する村民の意識啓発と各種団体などのリーダー育成について |
| 10       | すずき ゆり<br>鈴木 百合   | 交通安全母の会<br>大山分会       | 通学路の整備について                          |
| 11       | すずき ゆきこ<br>鈴木 敬子  | 大玉村婦人会                | 副議長 道路拡張について 他2件                    |
| 12       | たけだ なつよ<br>武田 夏代  | 交通安全母の会<br>玉井分会       | 議 長                                 |

# 村民の声



## 東日本大震災を経て

大玉中三年 長谷川彩乃さん



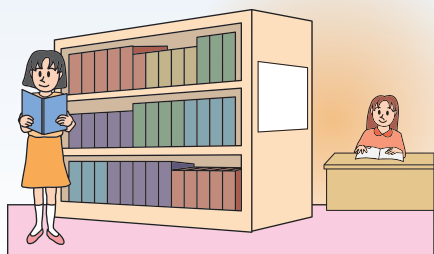
あの東日本大震災から2年が過ぎ、もう少しで3年になるうとしています。震災の影響で、自分の故郷に帰れない人はたくさんいます。風評被害で野菜や果物も検査してからではないと食べられなくなりました。ある日、テレビをつけると、そこには東日本大震災の映像がありました。黒い波に押し流される車や崩れていく建物でした。その映像を見ながら私は、当時のことを思い出していました。

集まり、卒業を祝う会をする予定でした。私は会場の準備を終えてみんなと教室にいました。揺れ始めは恐怖はなかったのに、揺れの激しさが増すにつれて恐怖が増していきました。揺れが収まり周りを見ると、ひどい状況でした。教室や廊下は物が散乱していました。校舎を出ると、銅像が割れ、落ちていました。その上、風が冷たくなり、雪が降ってきました。自分で大丈夫と念じていたのを今でも覚えています。

それに対する危機感がなくなっているように思います。いつ、また災害が起きても対応できるようになくはなりません。あの東日本大震災の恐ろしさを、たくさんの人に覚えていてほしいと思います。そのために、学校や村の図書館に、東日本大震災に関する資料を置いてほしいです。

私は、小学校6年生でした。その日は、6年生とその保護者と先生方で

あの日から生活はだいぶ変わりました。除染が進み、外で遊ぶことができるようになりました。しかし、不自由であった当時のことを忘れてはいけなと思います。当時の恐怖を覚えていても、



村政を知るよい機会です。  
お気軽に傍聴してみませんか？

次の議会は **3** 月です

議会傍聴は、住所と名前を記入するだけです。  
役場2階の「傍聴人控室」においてください。

問い合わせ先…議会事務局 TEL.24-8103

### 議会広報編集特別委員

- 委員長 ● 武田 悦子
- 副委員長 ● 菊地 利勝
- 委員 ● 鈴木 康広
- 委員 ● 押山 義則
- 委員 ● 佐々木市夫
- 委員 ● 遠藤 義夫



大玉村観光キャラクター  
「たまちゃん」

今年の干支、午は「物事がうまくいく」「幸運が駆け込む」とされる縁起の良い動物なのだそうです。新しい年、午がたくさんの幸運を運んでくれることを願いたいですね。「議会だより」今年も委員全員、力を合わせ、村民に親しまれる編集に全力を挙げます。

### ＝ 表紙の写真 ＝

1月13日、大玉村中学校武道館にて大玉剣友会主催で開催された第37回村民剣道大会です。寒さの中、はだしで奮闘する子どもたちに、寒さも忘れる思いでした。



### 編集後記

農業を取り巻く状況、消費税増税と、生活不安が募りますが、「人間万事塞翁が馬」悲観ばかりせず復興に向かって一直線。